

03

株式会社フェールムラカミ

企業概要

所在地:村上市坪根521番地1 電話:0254-53-5811

事業内容:オーダーシャツの製造

従業員数:130名うち雇用障害者数5名

URL:https://www.faire-m.co.jp/



障害のない従業員との 役割分担により 企業の貴重な戦力に!

DATA BOX

現在の障害者雇用の状況

身体障害者2名 精神障害者3名

主な担当業務

身体障害者:入荷管理、製品仕分け、受注処理
精神障害者:自動裁断機の補助、芯地プレス、
製品仕上げアイロン等

雇用の経緯

平成24年7月に会社の求人募集をしたところ、聴覚障害を持った方を紹介してもらったことがきっかけです。それまで障害者雇用に関する知識はなく、障害者がどれくらい仕事ができるかわかりませんでした。しかし、実際に仕事をする様子を見ると障害のない職員とほとんど変わらずに業務を行っていたことから、障害者にも仕事を任せられることができると感じ、その後障害者の雇用を進めていきました。

また、車椅子に乗った障害者を雇用するにあたり、雇用前の準備として障害者雇用促進プロジェクト助成金を活用しました。社内のトイレ改修やスロープの設置などを行ったことで働きやすい環境整備ができ、スムーズに障害者の受入れを行うことができました。

point

1

コミュニケーションを とることができる場を設ける

障害者を雇用するにあたり、障害者が常に相談できる窓口を開設し、総務に担当者を配置しています。主に精神障害者からの相談が多くなっており、仕事をする中で感じたことなどを話すことができる場となっています。

また、定期的にジョブコーチ(P.33参照)や障害者就業・生活支援センター(P.35参照)による面談を実施しているほか、担当者や障害者等で食事会を開いています。障害者は仕事に対してとても真面目で頑張りすぎてしまうことがあるため、こういった機会があることで、気分転換ができたり業務に関する要望などを話すことができるほか、障害者同士の情報交換

採用までのプロセス(一例)

- ① ハローワークからの紹介
- ② 職場実習
- ③ トライアル雇用
- ④ 正式採用



工場内の様子



芯地プレス作業の様子

に役立ててもらおうなど、コミュニケーションをとる場としても重要だと考えています。

平成29年5月より、障害者をサポートする職員（平成30年3月に企業在籍型ジョブコーチ研修を修了）を配置し、より良い環境づくりに取り組んでいます。

point

2

一従業員として能力を発揮

雇用し始めた段階では、障害者の特性を考慮し他の従業員の補助作業を行う短時間勤務として仕事を任せていました。

しかし、仕事に慣れるにつれ作業スピードが上がり、障害者本人からも「もっと長い時間働きたい」という申出があったため、体力や集中力などを見ながら少しずつ勤務時間を延ばしていきました。現在では、知的・精神障害者でもフルタイムで勤務している方もいるなど、障害者としてではなく、一従業員として能力を発揮してくれています。

それまで障害のない従業員が行っていた仕事の一部を、代わりに障害者が行うというように役割分担をすることで、障害のない職員がより他の作業に時間を割け、会社としても生産性が向上したように感じます。



アイロンがけ作業の様子

企業の戦力となるよう育てる

取締役 横山さん



障害者の担当業務を決めるに当たって、社内の仕事の中で障害者ができる作業を選定しました。その後その作業だけでなく、本人の要望や能力も考慮しながら他の業務も担当してもらい、適性なども見ながら担当業務を決めています。

そのため、個々の能力や希望に合った仕事を担当してもらうだけでなく、休んだ従業員がいた場合にその業務を代わりに行ってくれるなど、今ではそれぞれの障害者が会社にとってなくてはならない戦力になっています。

こんな課題どうしていますか？

危険な作業もあり、安全面で不安がある。

A 危険な作業は誰にとっても危険です。より安全に作業できる環境づくりを行っています。

支援機関

先見の明と連携の大切さ

障害者就業・生活支援センター アシスト
(P.35参照)

フェールムラカミ様と当センターとの最初の関わりは、福祉サービス事業所利用者の「施設外作業」の橋渡し役でした。その作業の様子を見て障害者雇用が実現。現在7名の方々の雇用をさせていただいております。

県の実習制度を活用することで、多種多様の障害・病状・性格等の理解が深まり、適切な業務内容と勤務時間の設定をさせていただいております。さらにご本人への言葉かけや希望等にも耳を傾けていただいております。また、当センターとご本人の定期的な面談時間も設定していただき、職場定着に向けた支援の場を頂戴しています。定期訪問の際には、担当されている次長様と互いに愚痴をこぼし、笑い、明日からの支援の活力となっております。

先日は工場長様に当センターの在職者の集いでお話してもらい、その中で「夜空の星を見つめ、一日の出来事・気持ちをリセットしている。」との言葉がありました。リセットとチャレンジを繰り返しながら人は成長していくものであり、みんなで力を出し合い同じ方向を見据え、諦めないという強い意志を持ち日々支援をしています。